

## 令和3年度困難を抱える若年女性支援業務に係る契約候補者の選考結果

### 1 企画競争実施委員会開催経過

#### (1) 第1回 令和3年3月16日

企画提案説明書、仕様書等、契約候補者の選定に必要な事項について確認・決定。

#### (2) 第2回 令和3年5月17日

応募者からの企画提案書に基づきヒアリングを行い、採点・協議により契約候補者を決定。

### 2 企画競争実施委員会委員

所属・役職等	氏名
子ども未来局子ども育成部長	野島 聡 (※1)
子ども未来局子ども育成部子ども企画課長	島谷 尚
子ども未来局子ども育成部子どもの権利推進課長	藤田 真
子ども未来局子ども育成部子ども企画課庶務係長	堀井 雄介 (※2)
子ども未来局子ども育成部子ども企画課企画係長	馬場 通江
保健福祉局総務部保護自立支援課長	高橋 博英
札幌医科大学保健医療学部看護学科教授	正岡 経子

(敬称略)

※1 令和3年4月1日～ (令和3年3月31日までは山本 真司)

※2 令和3年4月1日～ (令和3年3月31日までは石堂 正章)

### 3 応募者

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

### 4 選考結果

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会を契約候補者として選定する。

## 5 選定理由

契約候補者は、全ての評価項目において一定の評価を得て、全ての項目で評価点上限の6割以上の得点を獲得した。

本事業の目的を十分に理解し、若年女性等を取り巻く現状と課題を踏まえた内容であり、特に関係機関との連携が期待できる内容となっている点で高い評価を得た結果、合計点において最低基準点462点を上回る606点を獲得した。

## 6 採点結果（委員7名の合計点）

評価項目	評価点 上限	評価点合計
業務への理解・取組姿勢		
本事業の目的を十分に理解し、若年女性等を取り巻く現状と課題を踏まえた内容であるか	105	90
実施団体等の強み・特徴等、支援を行う上で有利と思われる事項があるか	70	60
実施内容に明確性、意欲、熱意はあるか	70	62
参考見積額の積算が提案内容に対して妥当なものであり、費用対効果が十分に見込まれるか	70	44
事業の実施に当たり、十分な体制をとることができるか（個人情報等の取扱い等の事務執行体制を含む）	70	48
企画提案の具体的内容		
アウトリーチ支援について、本事業が対象としている若年女性とつながることができるよう、効果的な取組や創意工夫がなされているか	140	108
居場所の提供について、安心・安全な居場所を確保でき、見守り体制等、実効性のある内容となっているか	70	56
自立支援について、対象者の生活の安定に向けた効果的な取組や創意工夫がなされているか	105	78
関係機関との連携が期待できる内容となっているか	70	60
合計	770	606